

東京 2025 世界陸上競技選手権大会  
トラック&フィールド種目（リレー種目除く）日本代表選手選考要項

1. 編成方針

2025年度最重要国際競技会と位置づけ、より多くのメダルや入賞を獲得することを目標とし、メダル獲得及び8位入賞を目指す競技者で選手団を編成する。

2. 開催地

東京

3. 開催期間

2025年9月13日（土）～9月21日（日）

4. 対象種目

(1) 男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、110mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技

(2) 女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、100mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技

5. 主なスケジュール

2024年

2月25日（月）

10000m、混成競技、リレー種目 参加標準記録有効期間開始

8月1日（日）

その他のT&F種目 参加標準記録有効期間開始

2025年

4月12日（土）

第109回日本陸上競技選手権大会・10000m

7月4日（金）～6日（日）

第109回日本陸上競技選手権大会（予定）

7月12日（土）～13日（日）

第109回日本陸上競技選手権大会・混成競技

**8月24日（日）**

**参加標準記録有効期間終了**

8月27日（水）

ワールドアスレティックス（以下「WA」という。）から  
参加資格者公表

- ・承認された参加標準記録未達成競技者のリスト
- ・参加標準記録によって参加資格を付与された競技者リスト
- ・WAワールドランキングと参加資格を取得した競技者
- ・参加資格を取得したリレーチームリスト

9月1日（月）以降

エントリー締め切り

第2次日本代表選手発表

※以降、WAによる追加の可能性あり。

6. 選考競技会

1) 第109回日本陸上競技選手権大会（2025/未定）

2) 第109回日本陸上競技選手権大会・混成競技（2025/岐阜）

3) 第109回日本陸上競技選手権大会・10000m（2025/熊本）

7. 選考基準

下記の各条件中の第109回日本陸上競技選手権大会終了時点とは、当該種目終了時点を用いるもの

とし、競技成績については、当該種目に係る成績のみ考慮する。下記の項目の数字の若い順に優先する。また、以下、記載のある「参加標準記録」および「記録」は、ワールドランキング対象競技会における「記録」を対象にするものとする。

#### 【内定条件】

- 1) ワイルドカードにより本大会の参加資格を得た競技者。
- 2) パリ 2024 オリンピック競技大会で 3 位以内の成績を収めた日本人最上位の競技者で、参加標準記録有効期間開始から第 109 回日本陸上競技選手権大会（以下、「日本選手権という」）終了時点までに、参加標準記録を満たした競技者。ただし、1) の該当者は順位に含まない。
- 3) 2) に該当者がいない種目において、パリ 2024 オリンピック競技大会で 8 位以内の成績を収めた日本人最上位の競技者で、2025 年 1 月 1 日（ただし、男女 5000m、男女 10000mについては、2024 年 11 月 1 日からとする）から日本選手権終了時点までに、参加標準記録を満たした競技者。
- 4) 日本選手権 3 位以内の成績を収めた競技者で、参加標準記録有効期間開始から日本選手権終了時点までに参加標準記録を満たした競技者。ただし、2) 3) で内定者が選考された種目については 2 位以内の成績を収めた競技者を対象とする。また、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
  - ① 日本選手権の順位
  - ② 参加標準記録有効期間開始日から日本選手権終了時点までの記録上位の競技者

#### 【選考条件】

- 5) 日本選手権 8 位以内の成績を収めた競技者で、参加標準記録有効期間内に参加標準記録を満たした競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
  - ① 日本選手権の成績
  - ② 参加標準記録有効期間内の記録
  - ③ 上記①～②の基準で優劣がつかない場合は、2025 年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 6) 日本選手権 8 位以内の成績を収めた競技者で、「Road to Tokyo」<sup>\*1</sup>により本大会の参加資格を得た競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
  - ① 日本選手権の成績
  - ② 「Road to Tokyo」の順位
  - ③ 参加標準記録有効期間内の記録
  - ④ 上記①～③の基準で優劣がつかない場合は、2025 年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 7) 参加標準記録有効期間内に参加標準記録を満たした競技者。  
ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
  - ① 「Road to Tokyo」の順位
  - ② 参加標準記録有効期間内の記録
  - ③ 上記①～②の基準で優劣がつかない場合は、2025 年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 8) 「Road to Tokyo」により本大会の参加資格を得た競技者。  
ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
  - ① 「Road to Tokyo」の順位
  - ② 参加標準記録有効期間内の記録
  - ③ 上記①～②の基準で優劣がつかない場合は、2025 年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 9) WA による全種目の未使用出場枠の再配分後に参加資格が認められた競技者。  
ただし、「Road to Tokyo」におけるそれぞれの種目のターゲットナンバーに 10 を加算した順位以内にランクしている競技者に適用しエントリーを行う。
- 10) 開催国枠によるエントリー
  - 1) ～9) において 1 名も出場者がいない種目は、以下の優先順位にて開催国枠を利用しエントリーを行う。ただし、フィールド種目、および、混成競技の出場可否の最終判断は本大会の TD（技術代表）となるため、エントリーを行ったとしても出場できない場合がある。
    - ① 「Road to Tokyo」におけるそれぞれの種目のターゲットナンバーに 10 を加算した順位以

内で最上位にランクしている競技者。

- ② 第109回日本選手権者、かつ、本連盟が定める開催国枠エントリー設定記録を2025年1月1日から8月24日までに満たした競技者。

※1 「Road to Tokyo」とは本大会における各種目の参加資格の基準となるワールドランキングである。

URL : <https://worldathletics.org/stats-zone/road-to/7190593>

## 8. 選考方法

故障等により、大会本番で競技力を発揮できないと判断された場合を除き、上記選考基準に従い下記の方法で選考する。

- 1) 選考基準1)～4)による選考：

即時内定とし、専務理事が承認することにより決定する。

- 2) WAによる参加有資格者公表後の選考(選考基準5)～10)、2025年8月27日以降予定)：

前記1)の項により選考された者ではWAの定める各種目の出場可能人数を満たさなかった場合、選考基準5)～10)に従い、強化委員会が原案を作成し、選考委員会の議を経て、専務理事が承認することにより決定する。

※「Road to Tokyo」公表以降にWAより有資格となる競技者が追加される可能性がある。

### 【補足事項】

※選考基準9)10)に係る参加資格は、2025年9月1日以降WAから追加により認められるが、エントリーシステムのルール上、対象となる競技者は、ファイナルエントリーの時期(2025年9月1日)までにエントリーしておかなければならない。

## 9. 補足

- (1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はWAが定めるエントリー数の上限の枠を保证するものではない。

- (2) WAが定めるエントリースタンダードに準じて必要に応じて、補欠選手を選考できる。

- (3) 参加標準記録の有効期間は下記の通り。

10000m、混成競技、リレー：2024年2月24日～2025年8月24日

その他の種目：2024年8月1日～2025年8月24日

- (4) 代表選手は本連盟または大会主催団体が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。

- (5) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。

1) アンチ・ドーピング規則に反した場合

2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合

3) 前記(4)を遵守しない場合

- (6) 代表選手は、最高のパフォーマンスを発揮できるよう最大限の準備をしなければならない。

なお、WAのルールとして、100m代表選手は、4×100mリレーに、400m代表選手は、4×400mリレーにそれぞれ必ずエントリーされることから、100m代表選手は、4×100mリレー、400m代表選手は、4×400mリレーについても、最高のパフォーマンスを発揮できるよう最大限の準備をしなければならないことに留意されたい。

- (7) リレーの代表選手(WAのルールにより100m代表選手または400m代表選手として、WAのルールにより、4×100mリレーまたは4×400mリレーにエントリーされた者を含む)は、強化委員会が特に認めた場合を除き、リレーの準備のために強化委員会が計画する遠征、競技会及び合宿に参加する義務を負うものとする。

- (8) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。

- (9) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会、選考基準及び選考方法について、専務理事の決定により、変更することができる。ただし、選考基準について基本的な考え方の変更を伴う場合には、理事会の決議を要するものとする。

以上

東京 2025 世界陸上競技選手権大会  
トラック&フィールド種目ターゲットナンバー・参加標準記録

男子		種目	女子	
ターゲットナンバー	参加標準記録		ターゲットナンバー	参加標準記録
48	10.00	100m	48	11.07
48	20.16	200m	48	22.57
48	44.85	400m	48	50.75
56	1:44.50	800m	56	1:59.00
56	3:33.00 (3:50.00)	1500m (1 マイル)	56	4:01.50 (4:19.90)
42	13:01.00 13:01	5000m 5km ロード	42	14:50.00 14:50
27	27:00.00 27:00	10000m 10km ロード	27	30:20.00 30:20
40	13.27	110mH/100mH	40	12.73
40	48.50	400mH	40	54.65
36	8:15.00	3000mSC	36	9:18.00
36	2.33	走高跳	36	1.97
36	5.82	棒高跳	36	4.73
36	8.27	走幅跳	36	6.86
36	17.22	三段跳	36	14.55
36	21.50	砲丸投	36	18.80
36	67.50	円盤投	36	64.50
36	78.20	ハンマー投	36	74.00
36	85.50	やり投	36	64.00
24	8550	十種競技/七種競技	24	6500
広州 2025 ワールドリレーズ上位 14 ヶ国 +WA トップリスト上位 2 ヶ国		4×100m リレー 4×400m リレー 混合 4×400m リレー	広州 2025 ワールドリレーズ上位 14 ヶ国 +WA トップリスト上位 2 ヶ国	

東京 2025 世界陸上競技選手権大会  
トラック&フィールド種目 開催国枠エントリー設定記録

男子	種目	女子
10.11	100m	11.24
20.40	200m	22.92
45.38	400m	51.74
1:45.88	800m	2:00.99
3:35.65	1500m	4:06.15
13:11.02	5000m	15:08.54
27:23.65	10000m	31:01.32
13.46	110mH/100mH	13.00
49.22	400mH	55.80
8:23.15	3000mSC	9:33.92
2.26	走高跳	1.90
5.59	棒高跳	4.49
7.99	走幅跳	6.58
16.67	三段跳	13.97
19.10	砲丸投	17.91
62.60	円盤投	60.73
73.88	ハンマー投	70.40
81.29	やり投	60.84
8151	十種競技/七種競技	5976

※派遣設定記録は、参加標準記録とターゲットナンバーをもとに、予選通過が期待できる水準に設定した。  
ただし、算出した記録が日本記録を上回る種目については、日本新記録を派遣設定記録とした。